総務企画常任委員会

テーマ：公共交通

委員長
杉森弘之

副委員長
磯山和男

黒木のぶ子

石原幸雄

遠藤憲子

山本伸子

鈴木勝利

牛久市の公共交通の現状

①コミュニティバス　かっぱ号

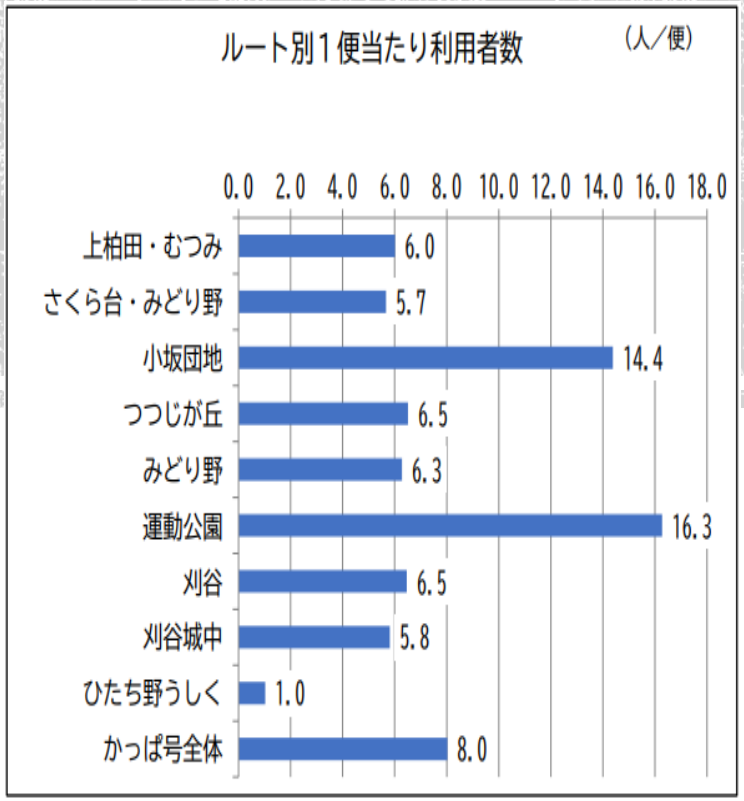
市民の声・・・

〇細い道のルートも通れる車両の小型化（ワゴン車）を検討してほしい

〇免許返納者が増えているので、まだかっぱ号が通っていない行政区も検討を。

課題としては・・・

〇令和２年から始まったひたち野うしくルートの利用者が少ないため、事業収支への影響が出ている。



９ルートを
６台の車両で編成

（出典：牛久市地域公共交通会議〔R5.5.29開催〕資料より令和4年度実績）

牛久市の公共交通の現状

②乗合タクシー　うしタク

市民の声・・・

〇電話で予約をしてもなかなか予約がとれない。
〇運賃７００円が高い。
〇牛久市外の病院にも行けるようにしてほしい。

課題としては・・・

〇朝９時と１０時の利用が集中しているため、予約を断らざるを得ない状況がある。
〇利用者の８５％が６５歳以上の高齢者で、病院への利用が６５％と最も多い。高齢者の足としてのうしタクの役割を認識したうえでの運用の改善。

【基本運賃】
３００円　１９自治体
５００円　１３自治体
４００円　３自治体

セダン２台
ワゴン１台
合計３台での運用

牛久市の公共交通の現状

③その他の公共交通

市民の声・・・

〇タクシーは運賃が高いし、いくらになるのかわからなくて不安。

〇刈谷や小坂団地の路線バスが土日祝日の運行をやめてしまった。

課題としては・・・

〇令和６年４月からの運送業における働き方改革もあり、さらなる路線バスのダイヤ見直しが予想される。

- タクシー
- 民間バス
- 総合福祉センター巡回バス（８コース）
- ボランティア移送サービス
  （岡田小区/牛久二小区/向台小区）
- 稲敷エリア広域バス
- 福祉有償運送

委員会で議論していること

１．かっぱ号の課題

・現在運行していない地域への拡充の希望がある一方で、乗車率の低いルートもある。地域住民の特性を生かしたルートの見直しが必要。

２．うしタクの課題

・朝９時、１０時の利用が集中しており主な行先は病院である。高齢者の足として重要な役割であることから集中時間帯の増車の検討が必要。

・７００円の料金が他の自治体に比べても高いことが改善できないか。

３．公共交通全般の課題

・運転手の働き方改革等で路線バスも今の便数を維持することが困難になる可能性がある。市民の社会活動、生活を維持していくためどこまで公共交通に自治体が負担をしていくべきか、市民も含めた議論が必要では。

先進地の取り組みを視察

11月９日、10日

高齢者の足としての公共交通から、

通勤通学、買い物、子どもの送迎など、

すべての人が社会参加しやすい環境の整備としての公共交通

mobi

秋田県大館市で始まった新しい移動サービス

例えば・・・

半径約2キロの圏内に**260か所もの乗降ポイント**があり利用できる。

8時から19時までの時間運行。

毎月5000円定額乗り放題プラン、回数券プランなどがある。